

第 5 委 員 会

【質問 1 「地震や津波などの大きな災害に対する備えについて」】



私たちは、地震や津波などの大きな災害に対する備えについて考えました。

大切なのは、いろいろな場面を想定して、準備をしておくことです。先日、大阪北部地域で地震が起こりましたが、この6月18日を大阪市で「助け合いの日」とし、学校や仕事を早く終わって早く帰れるようにして、家族で避難場所や連絡の取り方について話し合う日にできるように、大阪市が各企業や学校に啓発してはどうか。

先日の地震では、塀が倒れて小学校の見守り隊の方が亡くなりました。とても悲しかったです。ですから、大阪市でも壊れそうな壁や場所については、市が補助するなどして改善し、再発事故防止に努めてほしいです。

さらに、大阪市には外国から来られた人や、一人住まいの高齢者、障がいのある方もたくさんいます。特に助けが必要な人を先ほどの「助け合いの日」に各家庭を見回って把握したり、安心して利用できる避難所を増やしたりしてほしいです。

最後に、私たちはものよりも、人と人とのつながりや、どう行動できるかが大事だと思っています。市長の考えを教えてください。



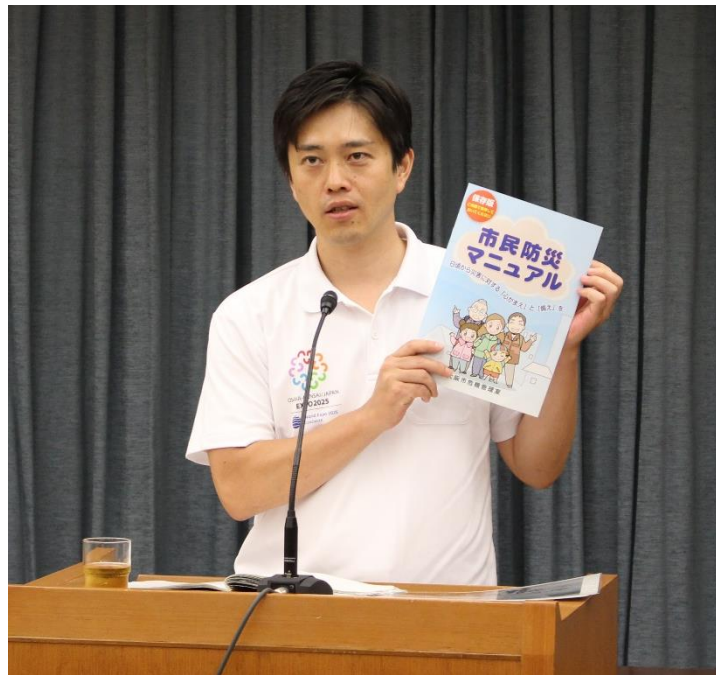
【市長答弁要旨】

- 6月18日の大阪府北部を震源とする地震は震度6弱だった。大阪市内でも観測史上初めて震度4を超えたものであり、皆さんも大きな揺れを感じたり、地震による被害などを見聞きされたと思う。
- 今回の地震で得た経験などを教訓として、6月18日に限らず、常日頃から、地震や台風といった様々な災害に対する備えをしてもらいたい。特に大事にことは自分の命は自分で守る、家族の身は家族で守ろうという気持ちをもって備えをすることである。
- 大阪市では市民防災マニュアルや防災マップ、防災アプリなどを作っているの、しっかり活用して家族で話し合ってもらいたい。

○ 6月18日の地震によるブロック塀の倒壊で命を落とされた方のご家族から、民間の塀についても安全なものを作ってほしいとの意見をいただいた。これを受けて、市として市民の安全を確保する必要があるため、地震発生後速やかに、民間所有のブロック塀等の撤去費用等に対する補助制度を創設した。

○ この補助制度により、危険なブロック塀等の撤去を促進し、地震時の塀の倒壊により、再び市民が傷つくことのないよう努めていきたい。

○ 一般の災害時避難所では、配慮が必要な方々も安心して利用できるようなスペースを用意するよう努めたり、専門の避難所として受け入れたりすることができるよう介護施設等と協定を締結し、福祉避難所の確保に努めており、4月1日現在で320箇所ご協力頂ける状況となっている。今後も少しでも多くの避難所を確保できるよう努めていきたいと考えている。



【質問2「環境を守り、ごみを減らす取り組みについて」】

私たちは、環境を守り、ごみを減らす取り組みについて考えました。

一つ目の提案は、「大阪エコバック」を作ることです。「大阪エコバック」の特典は、このバックを持って大阪市のお店で買い物をすると、少し値引きしてもらえるといるものです。日本で買い物をする外国人観光客にも利用してもらい、大阪市のごみを減らすための取り組みを世界に発信してはどうでしょうか。

二つ目は、「大阪マラソンクリーンアップ」の取り組みに、ゲームの要素を取り入れたり、バザー等の催しと組み合わせたりして、多くの人に興味を持ってもらい参加してもらうことです。





三つ目は、お客さんの集まるお店に、回収ボックスを設置するのはどうでしょうか。例えば百円均一ショップは、安い値段で物が買えるので多くの人に親しまれています。でも、安いからこそ買った物が要らなくなったとき、壊れたときに、すぐに捨ててしまっていないでしょうか。回収ボックスを各店舗に設置し、リサイクル活用することで、環境を守りごみを減らすことにつながると思います。

私たちの提案は以上ですが、市長は、どのようにすれば環境を守りごみを減らすことができると考えておられるのか教えてください。

【市長答弁要旨】

- まず、一つ目の提案について、レジ袋を含むプラスチックごみの削減は国際的にも大きな課題となっている。特に、海洋プラスチックごみについては来年、大阪で開催されるG20で議題にあげることになっている。
- 現在、大阪市では、スーパーマーケットの7事業者と「レジ袋削減協定」を結び、レジ袋の削減に向けた取り組みを進めているが、ご提案いただいたように「大阪エコバッグ」の取り組みとして、市民や外国人観光客に発信することは非常に意義深いと考えている。
- エコバッグ持参者には値引きを行う「大阪エコバッグ運動」の取り組みは、すでに「レジ袋削減協定」の協定を結んでいるスーパーマーケットでは行われている。今後は、協定に参加いただく事業者が増えるよう、スーパーマーケット以外の事業者にも積極的に働きかけていく。
- 次に、二つ目の提案については、平成23年度から、「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」を実施しているが、今後さらにまちを美しくするためには、地域の皆さんの協力が不可欠であり、ゲームの要素を取り入れるなど、効果的なおもしろい取り組みを検討していきたい。
- 最後に、三つ目の提案については、物を大切にすることはとても重要であり、そのためにはリデュース・リユース・リサイクルという3Rの取り組みが必要である。
- 本市でも分別収集や小型家電等の拠点回収により、リサイクルを実施するとともに、回収したマタニティウェアなどまだ使用できるものについては、必要とする方に提供するリユースにも取り組んでいる。
- 環境を守る、ごみを減らす、そんな大阪にしていく。